

3 市民意識調査の回答者の特性

性別

「性別」の加重平均による抽出数の割合は、男女ほぼ同等なのに対して、回答者の割合をみると、男性が約44.4%に対し、女性は約61.1%と、女性の方が積極的に回答している。

表：「性別」の抽出数と回答数

性別	抽出数		回答数		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	
男性	1,531	51.0%	679	42.1%	44.4%
女性	1,469	49.0%	897	55.6%	61.1%
不明			36	2.2%	
計	3,000	100.0%	1,612	100.0%	53.7%

年齢別

「年齢別」の加重平均による抽出数の割合は、年齢階層によりばらつきがあるが、回答者の割合を見ると、総じて年齢階層が高くなるに比例して積極的に回答している。ただ、40歳未満の回答率が若干低い。

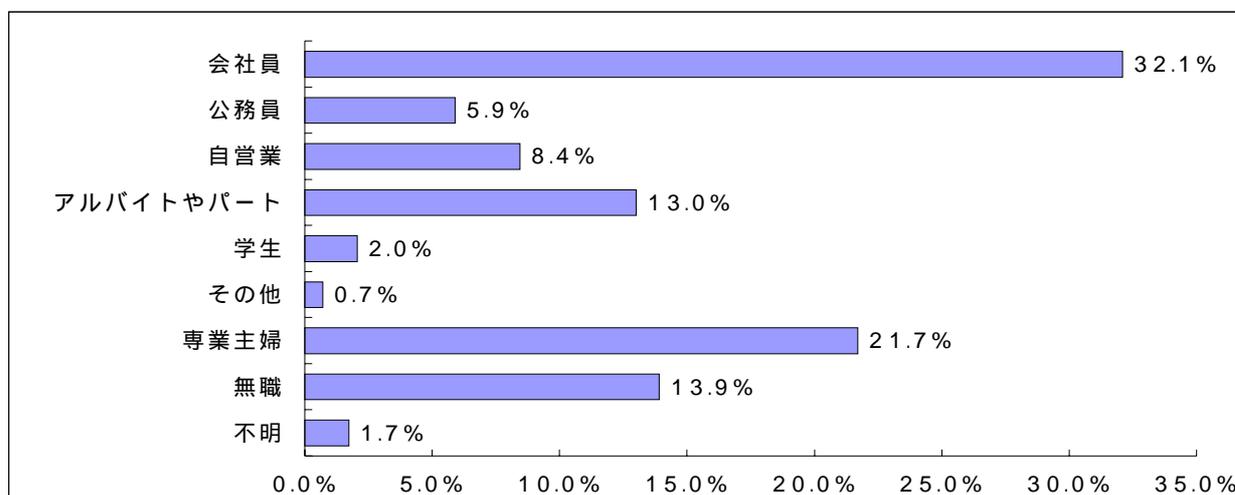
表：年齢別の抽出数と回答数

年齢	抽出数		回答数		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	
20～24歳	262	8.7%	89	5.5%	34.0%
25～29歳	373	12.4%	136	8.4%	36.5%
30～34歳	375	12.5%	181	11.2%	48.3%
35～39歳	283	9.4%	136	8.4%	48.1%
40～44歳	229	7.6%	122	7.6%	53.3%
45～49歳	233	7.8%	130	8.1%	55.8%
50～54歳	317	10.6%	171	10.6%	53.9%
55～59歳	252	8.4%	164	10.2%	65.1%
60～64歳	246	8.2%	160	9.9%	65.0%
65歳以上	430	14.3%	296	18.4%	68.8%
不明			27	1.7%	
計	3,000	100.0%	1,612	100.0%	

就労状況

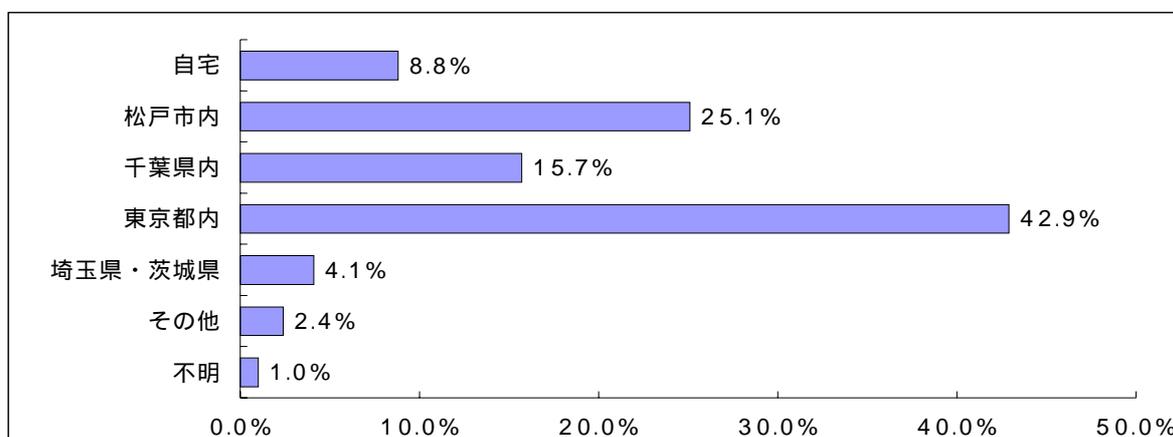
就労状況は、アルバイトやパート、その他を含め就労している人が 60.0%、専業主婦を含め就労していない人が 35.6%となっている。

グラフ：就労状況



さらに、就労・就学している人の勤務地・通学地は、東京都内が 42.9%と多く、自宅を含め松戸市内が 34.0%、同様に千葉県内が 49.7%となっている。

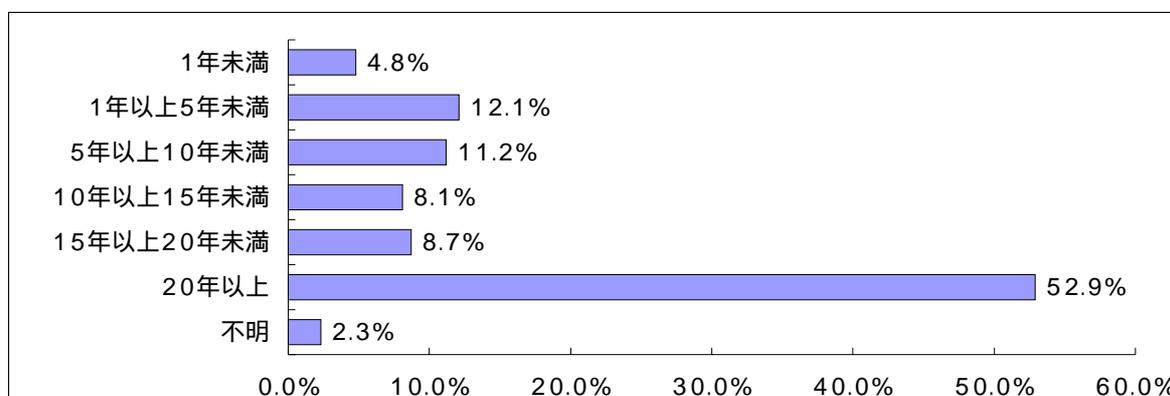
グラフ：勤務地・通学地



居住年数

松戸市に20年以上居住している人が52.9%と、半数以上を占めている。逆に、「5年未満」の居住期間が短い人が16.9%と若干多い。

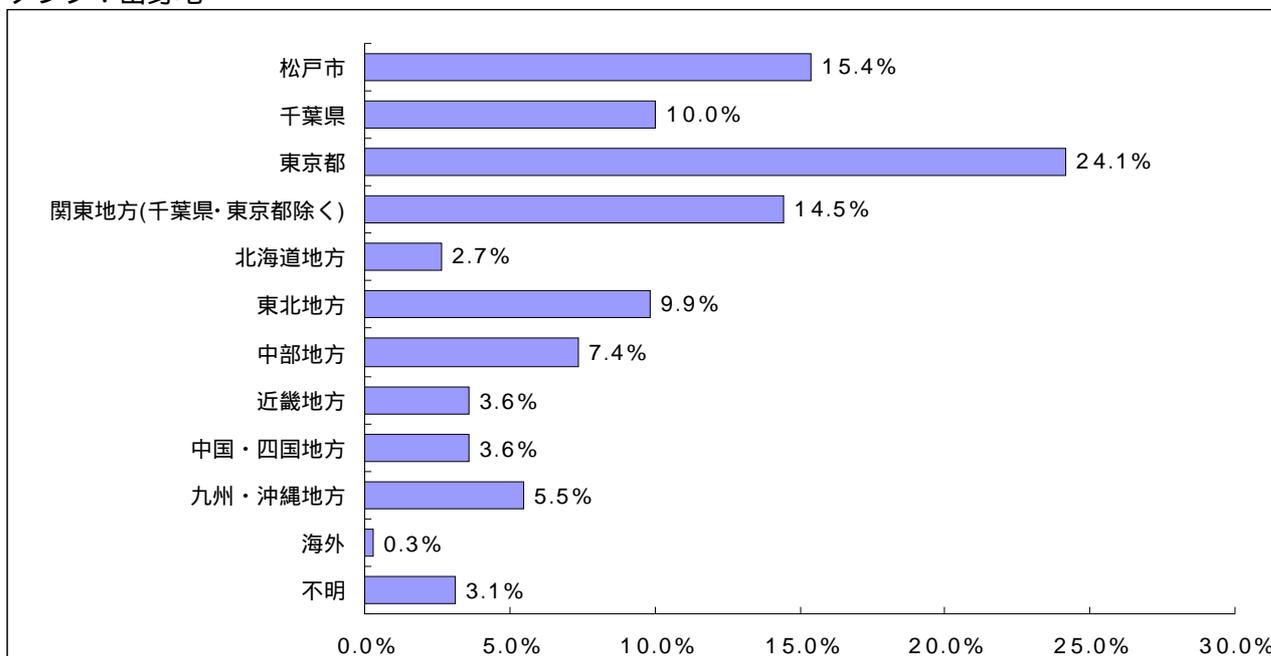
グラフ：居住年数



出身地

東京都出身の人が24.1%と最も多く、松戸市の15.4%、千葉県9.9%、その他関東地方の14.5%となっており、「松戸市を含む関東地方全体」では63.9%と、関東近県の出身者が多い。

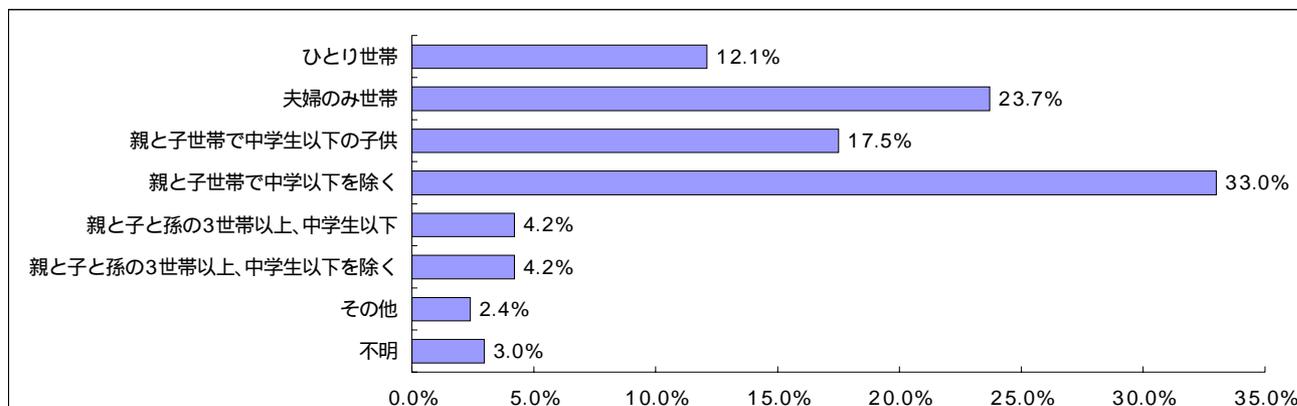
グラフ：出身地



家族構成

核家族世帯（「夫婦のみ世帯」「親と子世帯」）が74.2%と3/4を占め、三世帯世帯（「親と子と孫世帯」）は8.4%と「ひとり世帯」より少ない。

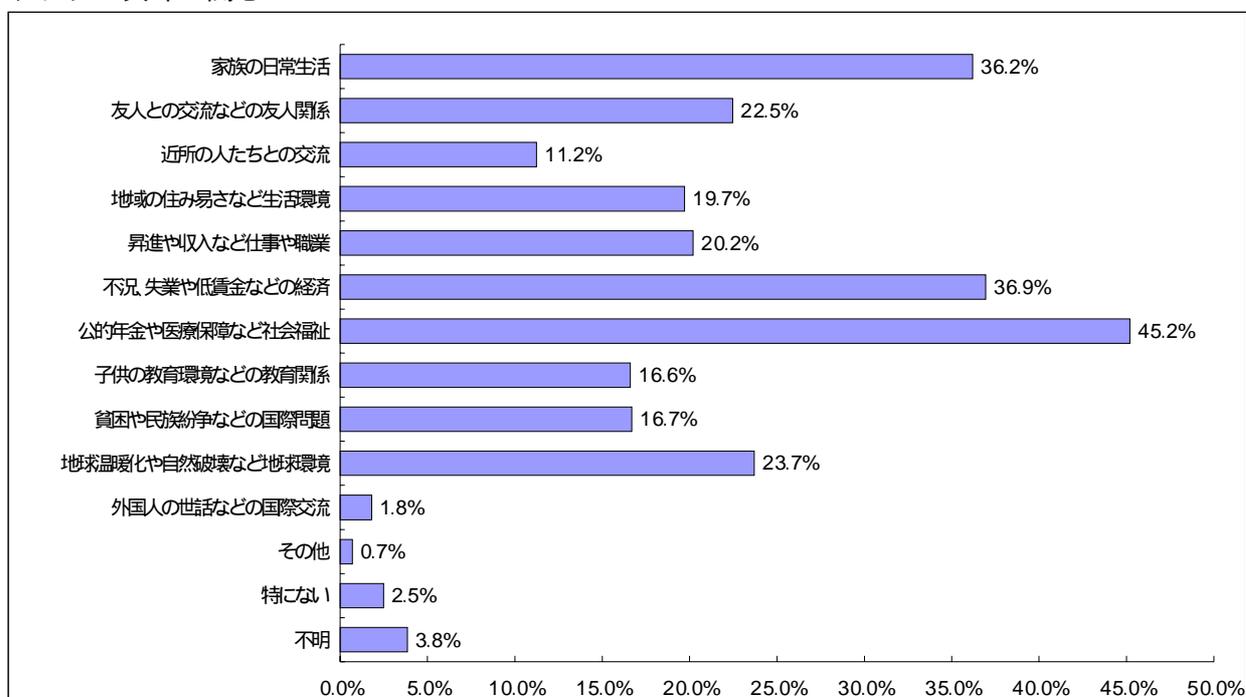
グラフ：家族構成



興味・関心（複数回答）

「公的年金や医療保障などの社会福祉」が45.2%と最も多く、「不況、失業や低賃金などの経済」36.9%、「家族の日常生活」36.2%の割合も高い。全体的にばらつきはあるが、「近所の人たちとの交流」「外国人の世話など国際交流」など、人との交流については、他より低い。

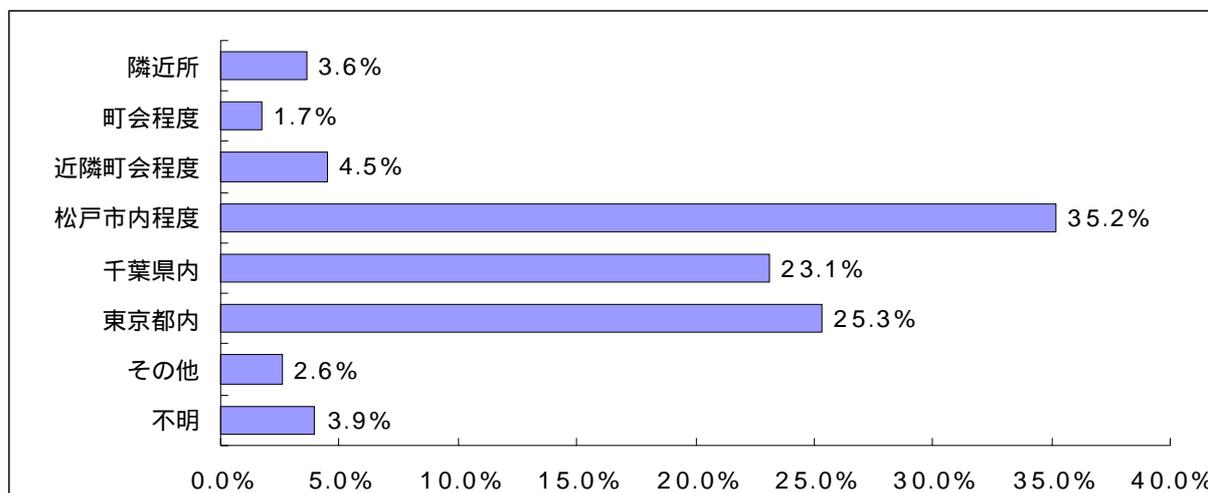
グラフ：興味・関心



日常的な行動範囲

日常的には、松戸市内（「隣近所」「町会程度」「近隣町会程度」「松戸市内程度」）の人が45.0%と行動範囲があまり広くない。

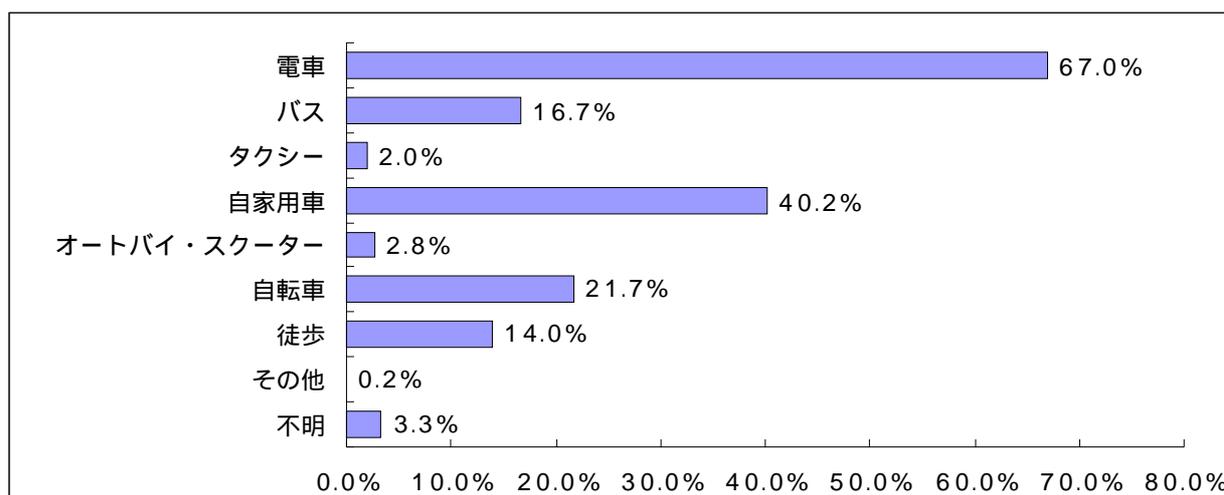
グラフ：日常的な行動範囲



主な交通手段（複数回答）

やはり公共交通（「電車」「バス」）を利用する人が83.7%と多く、これは通勤・通学の利用を含むためであると思われる。また、自家用車の利用が多いのは、日常的な行動範囲が松戸市内と余り広くないためと思われる。

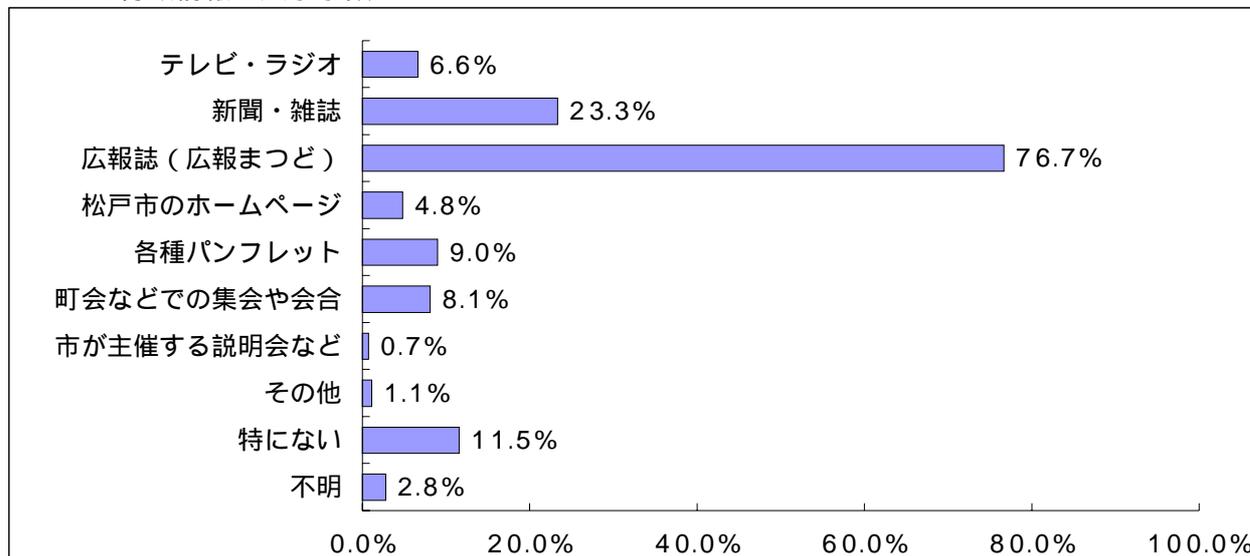
グラフ：主な交通手段



行政情報の入手手段（複数回答）

行政の情報はやはり、全戸配布している広報誌（広報まつど）から入手している方が3 / 4と高い。しかし、特にないという人が11.5%いる。

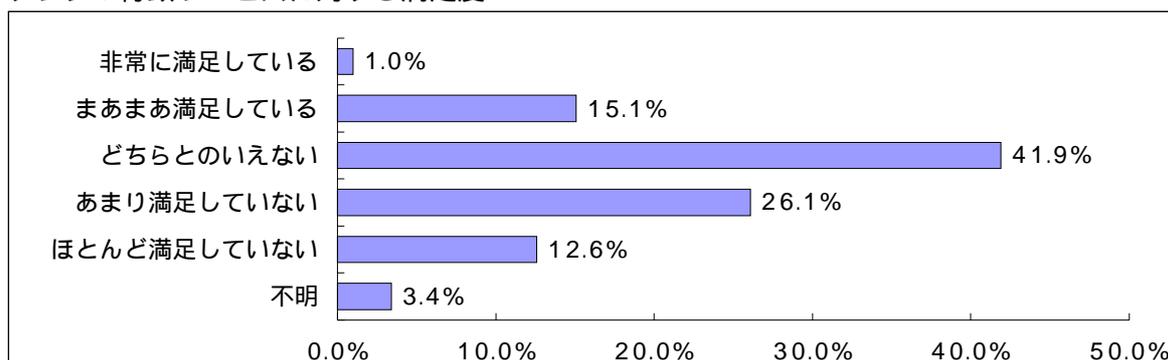
グラフ：行政情報の入手手段



行政サービスに対する満足度

満足している人（「非常に満足している」「まあまあ満足している」）は16.1%と満足していない人（「あまり満足していない」「ほとんど満足していない」）の半分以下である。しかしながら、「どちらともいえない」と態度を保留している人が41.9%と最も多い。

グラフ：行政サービスに対する満足度



地区別

「支所管区」ごとの回答率から見ると、馬橋管区が若干低く、東部地区が若干高いが、全地区ともほぼ均等な回答が得られている。

表：「支所管区」の抽出数と回答数

管区	抽出数		回答数		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	
本庁	811	27.0%	440	27.3%	54.3%
常盤平	586	19.5%	296	18.4%	50.5%
小金	269	9.0%	149	9.2%	55.4%
小金原	196	6.5%	113	7.0%	57.7%
六実	176	5.9%	105	6.5%	59.7%
馬橋	240	8.0%	117	7.3%	48.8%
新松戸	389	13.0%	197	12.2%	50.6%
東部	168	5.6%	104	6.5%	61.9%
矢切	165	5.5%	91	5.6%	55.2%
計	3,000	100.0%	1,612	100.0%	53.7%